

でのQRコードをスマートフォンで読み取っていただき、フォームに入力していただければ1分で回答が可能です。また、事務局からメールでもURLをお送りしますので、PCからでもURLをクリックして回答いただけます。今年度は以後の例会で各テーブルに理事役員にできるだけ入っていただきますので、操作など分からない方は出席委員会をはじめ各テーブルの理事のサポートを受けてください。

・もうひとつ、公式LINEによる事業案内ならびに出欠確認システムについてのご案内もごさいます。

こちらは、もうひとつの試みとして、公式LINEを使った事業案内および出欠連絡の受信・返信ができるシステムの導入テストのお知らせです。こちらはすでにこのシステムでクラブ運営をしている浦和北東ロータリークラブの会員の協力をいただき、大宮西ロータリークラブのテスト環境を設けていただくことができました。こちらのお友だち登録もお願いいたします。こちらも、管理運営委員会、出席委員会、広報・ICT委員会はじめ各テーブルの理事のサポートを受けて登録をぜひお願いいたします。スマートフォンのLINE経由で、スマートフォンでそのままクラブのお知らせ、出欠回答が簡単に送信・確認できますので、ぜひ登録ください。こちらは今回のテスト利用結果を踏まえ、今後の導入可否の検討材料とさせていただきます。今年度末に会員アンケートを行わせていただきたいと思います。ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

・3月9日の3月第2オープン例会ですが、こちらは横溝年度唯一のオープン例会となっております。大宮ろう学園さんでの開催となります。球舞はフットボールエンターテイメント集団で、さいたま観光大使も務めています。ぜひ皆様も他のロータリアンをお誘い、アピールの上ご参加をお願いいたします。

・再度のお願いですが、3月28日の2770地区ポリオ根絶チャリティボウリング、ならびに4月17日のIMのお知らせです。地区の事業となりますので、ぜひご参加のほど再度の声掛けですがよろしくお願ひいたします。

・本日は例会終了後に新人研修がございます。申込の方は受講の方をよろしくお願ひいたします

委員長報告、派遣役員報告

■青少年交換委員会 委員長 川鍋 洋子
第4回青少年交換委員会を開催します。エミリアンくんのホストファミリーが変わります。



■IM実行委員会 委員 榎本 貞寿
4/17(金)にIM(シンフォニークルーズ)が行われます。参加費の負担はありません。参加希望者が多い場合、現地までバスを用意します。ぜひご参加を。また、3/28(土)のボウリング大会はチャリティです。ご家族、知人どなたでも参加OKです。



米山記念奨学金支給及び近況報告

■米山奨学委員会 委員長 福田 美香より
2025学年度米山記念奨学生 モモトウンさんに支給
近況報告



「学校の中間発表・テストが終わりました。冬休みになりましたのでスキーと温泉に行く予定です」



青少年交換学生お小遣い支給及び近況報告

■青少年交換委員会 委員 小島 徹会員より
2025-26年度青少年交換学生エミリアンくんを支給近況報告「LIVEに行きました。」

1月の終わりにインフルにかかった。またおじいちゃんが亡くなった。でもこれから勉強がんばります」

カウンセラー 齊藤 敏雄会員より報告
スキー合宿に行ったりライブに行ったりしているようです。皆さん、ぜひ「日本語で」話しかけてください。



誕生日祝い

渋谷 廣慶(4日)、天池 健二(5日)、矢部 正博(7日)、石井 敦(7日)、石丸 主憲(10日)、染谷 義一(21日)、胡 平(26日)、出山 隆信(26日)、高橋 真貴子(28日)、島袋 祥子(28日) 各会員



代表挨拶 石丸 主憲会員

「明日で51歳になります。息子18歳と初めて選挙と一緒に行きました。これからまだまだ楽しんでいきたいです」



ロータリーの友 解説

広報・ICT委員会 委員長 菊池 裕一
【横組】

P.5 今月は、「平和構築と紛争予防」月間となります。P.13まで特集が組まれていて、コザRC名誉会員の諸見里会員の戦時中の体験談が掲載されています。戦争の悲惨さを忘れないためにもご一読ください。

P.14 ロータリー研究会。デジタルツールについての記事が出ていましたので紹介をします。P.15 中段、RI会長のコメントです。このような時代にこそ、ロータリーの「四つのテスト」が重要です。このシンプルで力強い四つの問いは、人口知能(AI)や技術革新が進む現代社会において、予言のような意味を持っています。AIは単なるツールではなく、私たちの野心を映し出し、増幅させる「鏡」でもあります。AIは、情報の伝達を加速させる一方で、ニセ情報の拡散も容易にしまいます。人とのつながりを広げる可能性がある一方で、そのつながりの「意味」や「温かさ」を損なう危険性もあるのです。私たちが恐れるべきなのは、機械に仕事を奪われることだけではありません。もっと恐ろしいのは、人間らしい感情を失ってしまうことです。

P.17 中段、RI理事のコメントです。AIによるロータリーの変革へようこそ。AIは、私たちの活動を効率化し、奉仕の範囲を広げ、プロジェクトの成果を最大化する方を持っています。これは単なる技術の導入ではなく、ロータリーの使命と行動様式を見つめ直す大きな転換点です。AIは、コミュニケーション、資金調達、会員増強、適材適所のマッチングなど、さまざまな場面で私たちに助けてくれます。一方で、プライバシーの保護や公平性への配慮を常に意識し、責任ある活用が求められます。AIは人にとって代わる存在ではなく、人の行動を後押しするパートナーです。技術革新の捉え方は、人によって、かなり違うのだと感じました。

P.22 特別企画として各クラブのポリオ根絶活動が掲載。その中で、P.29 下段に第2770地区の「スーパーカーツーリング」が掲載されていますのでご一読ください。

P.49 春日部西ロータリークラブの社会福祉活動が掲載。ひとり親家庭に希望のつばさを、ロータリー歴42年の高橋靖会員が、私財7,500万円を寄付し、基金を設立してロ

